

第3回 高梁市地域防災力向上委員会

令和2年7月31日（金）

10：00～

高梁市図書館 4階多目的室

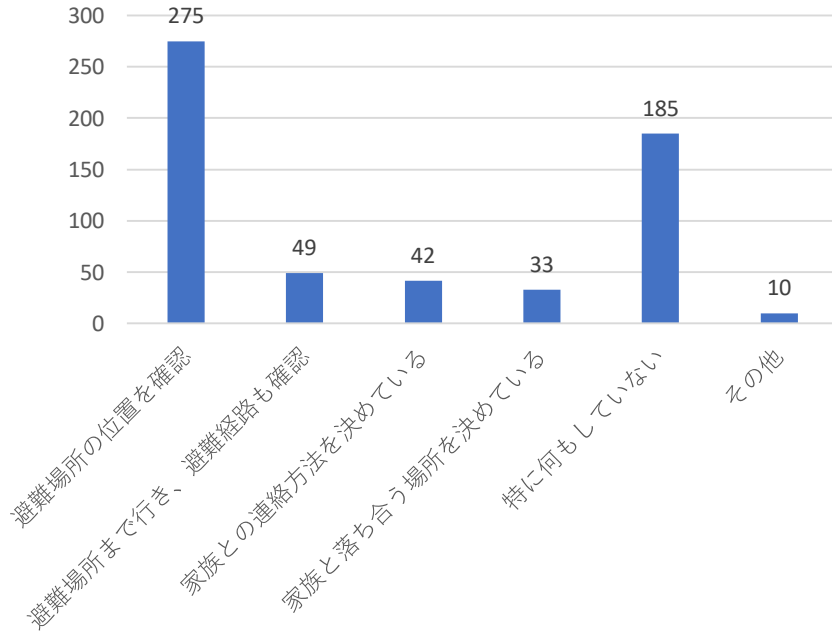
目 次

- (1) 市民・自主防災組織向けアンケート結果の報告について
- (2) 自主防災組織の設立支援等モデル地区選定及び取組状況の報告について
- (3) 高梁市地域防災力向上の目標・行動計画（案）について
- (4) 令和2年度の実施事業（報告事項）について
- (5) 今後のスケジュールについて

- 高梁市地域防災力向上の目標・行動計画の目標設定や具体的な取組内容に反映させるため、市民向けと自主防災組織等に向けたアンケートを3月に実施した。
- 市民向けは、市内の20歳以上の男女1000人に送付し、484人から回答。
- 自主防災組織向けは、市内の自主防災組織等(防火クラブを含む)56組織に送付し、45組織から回答。

○市民向けアンケート結果(抜粋)

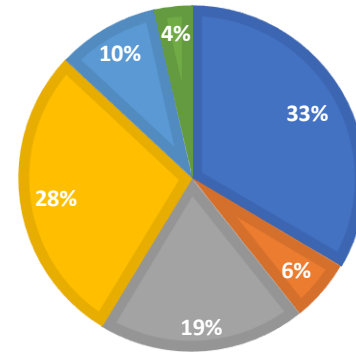
自宅以外の場所への避難の事態に備えてどのような対策をとっていますか。



- 避難場所の位置を確認している方は半数以上いるが、経路まで確認している人は全体の1割しかいない。
- 特に何もしていない方が38%

3年間に防災関連のイベント(訓練や催事など)に参加・見学したことがありますか。

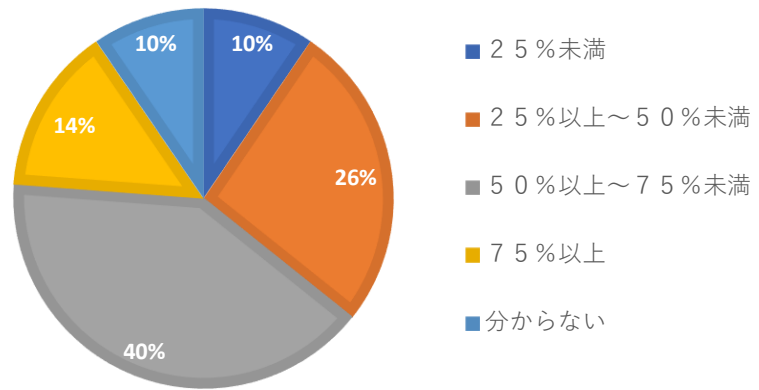
- 参加したことがある
- 参加したことはないが、見学したことはある
- イベントが行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない
- イベントが行われていることをしらなかった
- わからない
- 未回答



- 防災関連のイベントに参加・見学したことがある方(39%)より、参加・見学したことがない方(47%)のほうが多い。

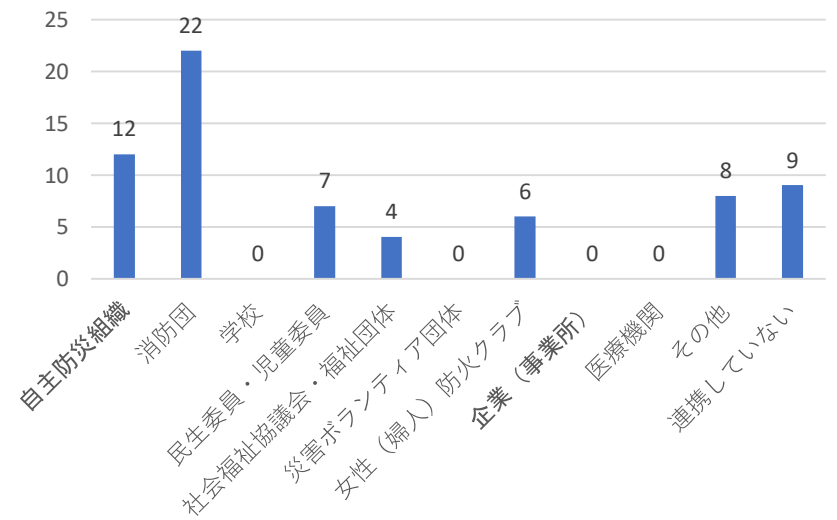
○自主防災組織向けアンケート結果(抜粋)

加入世帯のうち高齢者(65歳以上)の割合を教えてください。



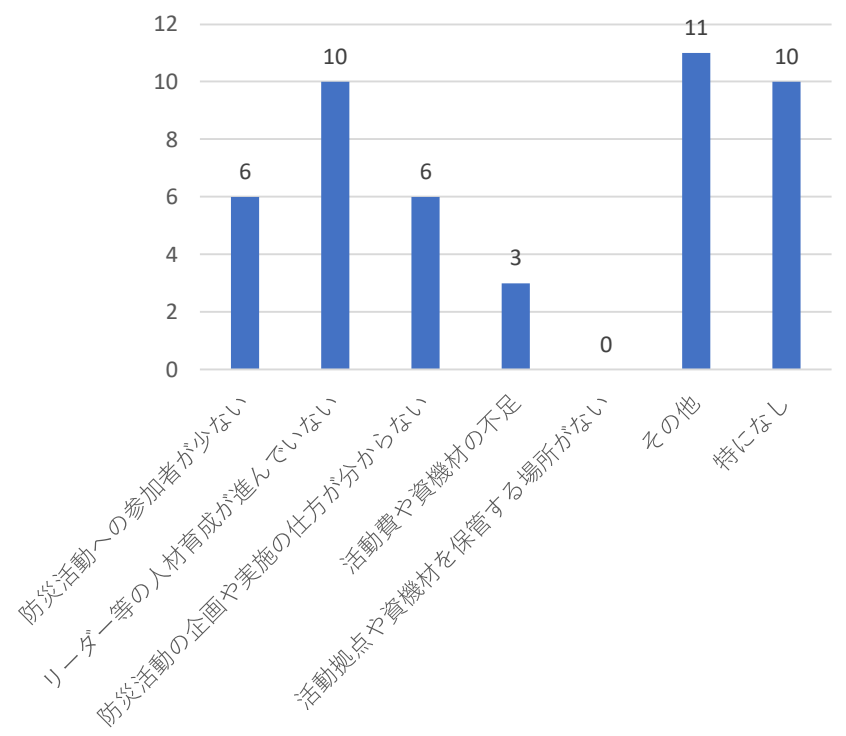
・組織の加入世帯の半数以上が高齢者

連携している組織を教えてください。



・半数の組織が、消防団と連携している。

組織の特に課題となっていることを教えてください。



課題の原因について、具体的に教えてください。

- ・防災に対する意識が低い
- ・地区間で防災に関する意識に大きなズレがある。
- ・高齢者が多く、先頭に立つ人がいない。
- ・高齢者が多く、活動に消極的
- ・若い人が入会せず、高齢化している。
- ・若い人は仕事があり、参加が難しい。

○市民向けアンケート結果分析

結果	(災害対策に関する意識) 今まで災害により被害を受けたり、身近には感じているが、対策や準備が十分にできてはいない。
	(防災に関する意識) 多くの方が、時間的な余裕がなく、防災関連のイベントへ参加できていない状況である。 参加したことがある方の多くは、地元の組織が開催する防災訓練に参加している。



原因	<ul style="list-style-type: none">・高梁市内で災害により、身近な方や多くの方の死傷者がなく、危機意識が低いため。・防災関連のイベントは、身近ではなく、子どもが楽しめるようなイベントではないため。
----	---

○自主防災組織向けアンケート結果分析

結果	<p>組織全体が高齢化し、加入世帯も少なくなっており、リーダー等の人材育成も進んでいないため、今後の活動を継続していくことが難しくなっている。</p> <p>こうした中、防災訓練の内容も消火訓練が多く、消防団との連携を多くの組織が図っており、消防団が地域防災の重要な組織となっている。</p>
----	--



原因	<ul style="list-style-type: none">・人口減少と高齢化が進み、地域に若い人が少ないため。・若い人は、仕事もあるなかで、組織に加入すると、役員等もすることになり、負担が増えることを嫌がるため。・消防団は市内の組織でも若い人の割合が高い組織であるため。
----	--

- 自主防災組織のモデル地区を選定し、設立・活動を支援するとともに、広くPRすることで、他地区での設立促進を図ります。
- 自主防災組織の設立支援等モデル地区の募集は、令和2年3月16日から4月15日の間で実施した。

○モデル地区選定

応募のあった次の3団体について、全てモデル地区として選定し、5月27日(水)に選定書交付式を実施

- ①あたご地域自主防災会（成羽町下原地区） 約280世帯
- ②成美コミュニティ推進協議会（成羽町成羽地区、成羽町羽山地区） 約440世帯
- ③仁賀協議会（川上町仁賀地区） 約120世帯



○モデル地区の取組状況

①あたご地域自主防災会

規約や班体制の整備、自主避難所の設置等も定められている状況であるが、現在のところ訓練等は未実施。

②成美コミュニティ推進協議会

成美コミュニティ推進協議会としての自主防災組織の設立はせず、コミュニティ内の各町内会単位で自主防災組織を設立し、各町内会で対応できない部分をコミュニティで支援していく形態

- ・令和元年11月1日 新張丁自主防災会 設立
- ・令和2年 7月1日 古町上ノ丁町内会自主防災組織 設立

成美コミュニティ推進協議会の役員等向けにマイ・タイムライン講習会を実施予定・・・8月11日(火)

③仁賀協議会

仁賀地域自主防災会の設立総会実施・・・7月21日(火)

防災講話と地域の現状把握を実施・・・8月23日(日)を予定していたが、延期（開催時期は未定）

※三村委員長に講師を依頼し、第1回ワークショップとして実施予定

高梁市地域防災力向上の目標・行動計画(案)について



- 住民一人一人が自ら行う防災活動(自助)、自主防災組織等の地域における多様な主体が行う防災活動(共助)、行政が行う防災活動(公助)のそれぞれの目指すべき姿の実現に向けた取組をとりまとめ、今年度で策定する。

目標	項目	目標の方向性	課題	取組の方向性	取組の目標	具体的な取組内容	現状 (R2)	目標 (R6)	備考
市民一人一人が自らの命を守る行動がとれる	市民(自助)	自分自身や家族の命を守るために、 市民一人ひとり が 自ら判断して避難行動 を行う	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報の認知度が低い 事前に避難行動を考えていない 	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりが、居住地域の災害危険情報や防災行動に関して学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動を考えている人の割合 (72%→100%) 防災関連のイベントに3年間で参加したことのある人の割合 (33%→75%) 	マイタイムライン講習会への参加	162人	1200人	マイタイムライン作成人数(累計)
						防災出前講座の開催	12回	72回	開催数(累計)
						住民参加型の防災訓練の実施	200人	1000人	市民参加者数(累計)
						防災教育の実施	1校	21校	市内小・中学校数
	地域(共助)	市民一人ひとりの避難行動を後押しし、 地域で互いに助け合っ て 地域の安全を確保 する	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ機能が低下している 市や防災組織間の情報共有がない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が、負担が少ない防災活動の事例などを参考にしながら、「できること」から始める。 地域が、より大きな組織で連携して地域住民の防災力を向上するための体制をつくる。 地域が、市と協力して連絡体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を毎年行う自主防災組織の割合 (75%→100%) 自主防災組織の結成割合 (76.8%→90%) 	自主防災組織結成相談会の開催	-	5回	相談会開催数(累計)
						自主防災組織連絡会の組織(自主防災組織、防災士)	未結成	結成	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織連絡会 防災士連絡会
						自主防災組織支援ワークショップの開催	0回	12回	開催回数
						自主防災組織の防災訓練に係る経費等の補助拡充	10団体	全団体	補助対象団体数(年間)
						防災士等の資格取得に係る経費の補助拡充	43人	100人	防災士の数
						自主防災組織と他組織との連携体制強化	36団体	全団体	他の組織と連携している団体数
市(公助)	災害から市民の命が守られるよう、 市民の適切な避難行動を促進 させるとともに、 市の災害対処能力を向上 させる	<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな情報発信が求められる 整備が必要な計画が多くある 	<ul style="list-style-type: none"> 市が、先行事例などを参考に情報伝達方法を改善する。 市が、整備が必要な計画やマニュアルについて整理し、優先順が高いものから策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域の災害に対する安全性・危険性を把握している人の割合 (92%→100%) 地域のハザードマップを持っている・見たことがある人の割合 (71%→100%) 計画、マニュアルの策定、共有 	避難所運営マニュアルの策定・配布・運用	策定	配布・運用	マニュアルの共有	
					SNSを活用した情報伝達手段の導入	未導入	導入	Twitter等の導入	
					総合防災訓練の開催	未実施	実施	拡充した訓練の毎年実施	
					地域担当職員への防災研修の実施	1回	6回	研修の実施回数	
					河川監視カメラの追加整備	7台	11台	カメラの設置数	
					地域情報を共有する仕組みの構築	未構築	構築	マニュアル作成	
					避難行動要支援者名簿の管理システムの導入	未導入	導入	システムの導入	
					ハザードマップの電子化	未導入	導入	ハザードマップの策定	

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民の方を集めての講習会等の開催は実施できなかったが、市で実施できる事業についてのみ実施した。

1. 先行事業の報告

<高梁市避難所運営マニュアル策定> 6月2日

- ・大規模災害による避難所開設の長期化を想定し、避難者自らが避難所を運営できるようにすることを目的に作成。

<高梁市感染症対策避難所マニュアル策定> 6月3日

- ・避難所での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために作成。

<高梁市大規模水害対策訓練の開催> 6月7日

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、可能な限り3密を避けての実施とした。
- ・関係機関との現地での連携対応や情報共有は中止し、電話・メール等による情報共有のみとした。
- ・避難所は18か所開設し、コロナ対策を実施した開設運営手順を確認したが、1か所のみ当該避難所のある地域の自主防災組織に参加いただき、コロナ対策に対応した手順を実際に住民に対して実施し、確認した。



<マイタイムライン講習会の実施> 未実施

<防災士・自主防災組織連絡会の設立に向けた意見交換会の開催> 未実施

2. その他事業の報告

<LINEを活用した防災訓練の実施> 6月2日

- ・国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所が実施する「LINE」を活用し、災害時の避難行動等に関する情報を共有することを目的とした試行訓練に、高梁市も参加し、自主防災組織や住民からの情報提供とその共有方法等の参考とした。

<Twitter災害用ハッシュタグの運用開始> 8月中

- ・「#高梁市災害」を運用し、災害情報の発信方法の統一化を図る。また、災害情報の収集時に検索を容易にし、情報収集の効率化を図る。
- ・現在、運用基準について、内容を精査中。

<内閣府の避難判断・訓練支援等市町村災害対応統合システム開発のモデル自治体に高梁市選定> 5月28日

- ・AI技術を活用して避難判断等に必要な情報を自動的かつ迅速に抽出して配信するシステムの開発に向けた、必要情報の選別等の検証のためのモデル自治体に選定された。
- ・全国で高梁市も含め7自治体が選定されている。
他の自治体・・・福岡県東峰村、茨城県常総市、東京都足立区、千葉県香取市、京都府舞鶴市、兵庫県加古川市

<岡山県令和2年度地区防災計画作成モデル事業に有漢地区選定> 4月20日

- ・モデル事業として地区防災計画作成の支援を岡山県が実施する。

- 第2回高梁市地域防災力向上委員会の際に報告した「令和2年度出水期に入る5月末までに優先して行う事業」として実施予定であった事業が新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかったため、再度調整する。

1. <マイタイムライン講習会の実施> ※職員向け5月29日、市民向け5月30日or31日に実施予定

- ・マイタイムライン講習会の第2回目を西部地区で開催する。
- ・市民向けの講習会を実施し、防災意識の向上を図る。
- ・職員向けの講習会も実施し、地域担当職員及び職員全体の防災意識の向上を図る。

○開催時期(案)・・・10月～12月

○実施主体・・・高梁市、(一社)高梁青年会議所

2. <防災士・自主防災組織連絡会の設立に向けた意見交換会の開催> ※3月11日に実施予定

- ・各連絡会の設立に向けた第一歩として、防災講演及び連携の方向性について意見交換を行う。
- ・市内の防災士(約40人)と自主防災組織(約50団体)の代表者を対象とし、組織間の連携促進を図る。

○開催時期(案)・・・9月～12月

○実施主体・・・高梁市

○内容・・・連絡会設立の趣旨説明(市)
防災講演(神田委員)

3. <自主防災組織モデル地区支援ワークショップ(WS)の開催>

第1回WS ※5月～6月に実施予定

- ・地域防災講演会を実施し、地域での防災について考え、防災意識の向上を図る。

○開催時期・・・8月23日(日) 仁賀地域自主防災会において実施を予定していたが、延期(開催時期は未定)

○内容・・・防災講話と地域の現状把握(三村委員長)

第2回WS ※8月～9月に実施予定

- ・まちあるきを実施し、地域の現状(危険箇所)や災害時の状況などを把握する。

○開催時期・・・9月～11月

第3回WS ※2月～3月に実施予定

- ・災害図上訓練を実施し、まちあるきで把握した現状を活用し、避難経路等を確認する。

○開催時期(案)・・・12月～2月

※WSの内容については、地域の要望や状況によって変更する。

4. <令和2年度市町村防災研修事業の実施> ※追加

- ・一般財団法人消防防災科学センターが実施する当該事業のなかの「市町村防災力強化出前研修 避難所HUG (風水害版)」に高梁市が採択され、実施することとなった。
- ・市内の自主防災組織の代表者等(20人～30人)を対象に、避難所運営の研修を実施する。

○開催時期・・・11月15日(日)

○実施主体・・・高梁市、(一財)消防防災科学センター

5. <第4回高梁市地域防災力向上委員会の開催>

- ・地域防災力向上の目標・行動計画を策定する。

○開催時期(案)・・・令和3年2月